

「ネットワークカメラ」製品分類別基準（PCR番号:BH-01）

注）この基準はエコリーフプログラム実施用に作成されたものです。事務局の承諾無く、本内容を他の目的に使用することを禁止致します

No	大項目	中項目	小項目	取り決め事項
1	PCR 設定の前提	製品	定義	撮像素子で撮影した映像をネットワーク環境で配信する。 屋内及び屋外に設置し遠隔操作可能なカメラ。
2			範囲	最小販売単位の個装箱に含まれるカメラ本体、ウェブサーバー本体、 と梱包材一式および機能を果たすための CD-ROM 等で提供される ドライバソフト、IP設定ソフト、取扱説明書、また、物流に用いる集合箱など の中間梱包資材も含む。 但し、通信ケーブルとPC本体及びルーター、モデム等のネットワーク周辺 機器を除く。
3		ステージ	範囲	全ライフサイクルステージ
4	製品データシート (LCI入力データ)	製造ステージ情報 (製品情報)	製品材料又は、原料 構成	<p>1) 部品等 A 扱いの部品(加工、組立負荷を自身で把握する部品) (1)下記機能のうち、1つ以上を搭載している実装回路基板全て。 ①撮像素子 ②通信用IC ③CPU ④画像処理IC ・但し、分離可能な配線材料、等は除く。 ・調査対象範囲は実装工程のみとする。</p> <p>2) 製品データシートに記載する材料分類名 普通鋼、電磁鋼板、SUS、銅、アルミニウム、その他金属、熱可塑性樹脂、 熱硬化性樹脂、ゴム、ガラス、紙、実装回路基板、木材の12項目とする。</p> <p>3) 資源投資量 製品となった段階の材料質量で算出する。 但し一部の部材が把握できない場合の特例として、製品全質量の 90%以上の材料を種類別に残りを比例配分して100%換算してもよい ものとする。</p> <p>4) オープンリサイクル/リユースを含む場合 次の項目に注意して各社で妥当と判断されるシナリオを設定して計 上できる。なお設定の根拠の妥当性は検証の対象となる。 (1)「間接影響」範囲とする工程 (2)「環境影響」範囲内の排除・負荷</p>
5			投入消費排出される 物質とエネルギー	<p>1) 投入・消費項目 電力、A 重油、軽油、灯油、ガソリン、LPG(都市ガス)、LPG、都市用 水、工業用水、地下水 但し、部品等 A に関する組み立てエネルギーは、付図1に基づく。</p> <p>2) 排出項目 特定せず。但し、各社で重要と判断したものを記載する。</p> <p>3) 輸送負荷 原則として投入物質(原材料・エネルギー)の輸送負荷は計上しない。 但し、部品等 A 扱いの部品についての製造サイト間の輸送負荷は計 上する。</p> <p>4) 副産物・副資材 計上しない。 ・副産物とは、製造工程においてその主な目的として製造される製 品とは別に、副次的に発生して有価売却される生成物を指す。 ・副資材とは、製造サイトで投入され、また廃棄される資材で製 品と共に出荷されないものを指す。</p>

No	大項目	中項目	小項目	取り決め事項
6		物流ステージ情報	製品の輸送条件	1) 製造元から販売先までの輸送手段、積載率は、申請各社が設定するモデルに基づく。 2) 国内輸送距離500kmとして算定する。 3) 海外から国内への製品輸送負荷製造サイトからの陸上及び海上輸送負荷を計上する。
7		使用ステージ情報	製品の使用条件	1) 使用条件 <ul style="list-style-type: none"> ・ 使用期間 : 5年間 ・ 画像送信時間 : 0.5H/日 待受け時間 : 23.5H/日 画像送信時間0.5Hの中で、パンチルトは10往復とする。 ・ 1年は365日として閏年は含まない。 ・ 画像送信、パンチルト以外の機能は考慮しない。
8	製品データシート (LCI 入力データ)	廃棄・リサイクルステージ情報	製品の廃棄・リサイクル条件	標準シナリオの設定 1) 市場が一般家庭用の場合 <ul style="list-style-type: none"> ・ 本体、付属品などを含め不燃物として一般廃棄物扱いとする。 ・ 紙類は可燃物として扱う。 2) 市場が業務用の場合 <ul style="list-style-type: none"> ・ 産業廃棄物扱いとして各社で処理シナリオを設定する。 3) オープンリサイクル/リユースを含む場合 次の項目に注意して各社で妥当と判断されるシナリオを設定して計上できる。なお設定の根拠の妥当性は検証の対象となる。 (1)「間接影響」範囲とする工程 (2)「環境影響」範囲内の排除・負荷
9	製品環境情報データシート (PEIDS)	インベントリ分析	LCI計算式	オープンリサイクル/リユースを含む場合は間接影響と直接影響を分離して計算し、このうち間接影響分を「リサイクル効果」として表現する。PIEDS では間接影響の合計を「リサイクル効果」欄に記載する。
10		インパクト評価	カテゴリ追加	「オゾン層破壊」、「富栄養化」は含まない。
11	内訳データシート (製品データシート関連)	データ加工	アロケーション	統一せず、各社で適宜決定する。
12		データ収集	収集範囲	新製品等でデータを把握できない場合は、設計時又は計画時の条件を含むデータ(含む原単位)で代用しても良い。
13			カットオフルール	組立負荷等についてカットオフを適用する場合は、その旨を明記し、かつその理由を明確にする。

14	内訳データシート (PEIDS関連)	データベース	共通原単位の選定	<p>対象>使用するエコリーフ共通原単位</p> <p>1) 各社が決めた購入部品の組み立て>『部品組立』 2) LCD、撮像素子、その他基板>『実装回路基板』 (部品等 A に指定された基板は除く) 3) モータは部品製造>『中型モータ』 4) ACアダプタ >電磁鋼板50%、銅20%、被覆材:該当樹脂30% 但し電源コードは5)項を採用する。 5) 電源コード >芯線:銅40%、被覆材:該当樹脂60% 6) カールコード >芯線:銅20%、被覆材:該当樹脂80% 7) 信号線コード>芯線:銅10%、被覆材:該当樹脂90%</p> <p>(注記: 以上は個別原単位の使用を制限するものではない。)</p>
15			原単位の追加	なし
16			特性化係数の追加	なし
No	大項目	中項目	小項目	取り決め事項
17	製品環境情報	製品仕様	—	<p>1) レンズ仕様 ・焦点距離(**mm)、F ナンバー (F**), ズームの有無と光学ズーム倍率</p> <p>2) 撮像素子仕様 ・センサーの種類(CCD/CMOS)、センサーのサイズ(*/*インチ) 画素数(*万画素)</p> <p>3) 通信インターフェイス ・10Base-T/100Base-TX、IEEE802、11b/g/a、等</p> <p>4) カメラ部の機構 ・パン/チルトの有無、パン/チルト回転速度(**/秒)</p> <p>5) 画像圧縮方式、フレームレート ・JPEG (**fps)、MPEG4 (**fps)</p> <p>6) カメラの設置環境 ・屋内仕様/屋外仕様 (JIS 保護等級)</p> <p>7) 製品質量</p>
18		データ公開内容	—	<p>1) 必須記載項目 温暖化負荷、酸性化負荷、エネルギー消費量</p> <p>2) 任意記載事項 ガイドライン指定の7項目</p> <p>3) Eセクション下部 注記内容 『使用期間5年』を想定しています。</p> <p>4) Eセクション 表現方法象 各ステージ及びステージ合計の温暖化負荷(CO2換算)を棒グラフで記載する。</p> <p>5) オープンリサイクル/リユースを含む場合、ステージ毎の「リサイクル効果」は実際に発生した負荷とは分離して点線で表示する。</p>
19		その他環境情報		<p>当該製品の環境特性に関係する、第三者による事実確認が可能な下記の情報を記載できる。</p> <p>1) タイプ I、タイプ III の環境ラベル</p> <p>2) ISO14001 認証の取得</p> <p>3) または工業会等の認証・認定・表彰</p> <p>4) 有害物質使用状況 鉛・水銀・カドミウム・六価クロム・ポリ臭化ビフェニール (PBB) ・ポリ臭化ジフェニールエーテル (PBDE) の6物質の使用の有無 なお情報公開の対象部分が限定される場合にはそれを明示する。</p> <p>5) 環境配慮型素材の情報 該当部を指定し素材名を明記する。</p>

PCRレビューの実施

レビュー実施日(制定)	2004/9/29
有効期限	2014/1/31
エコリーフ審議委員会	代表:内山 洋司 所属:筑波大学大学院

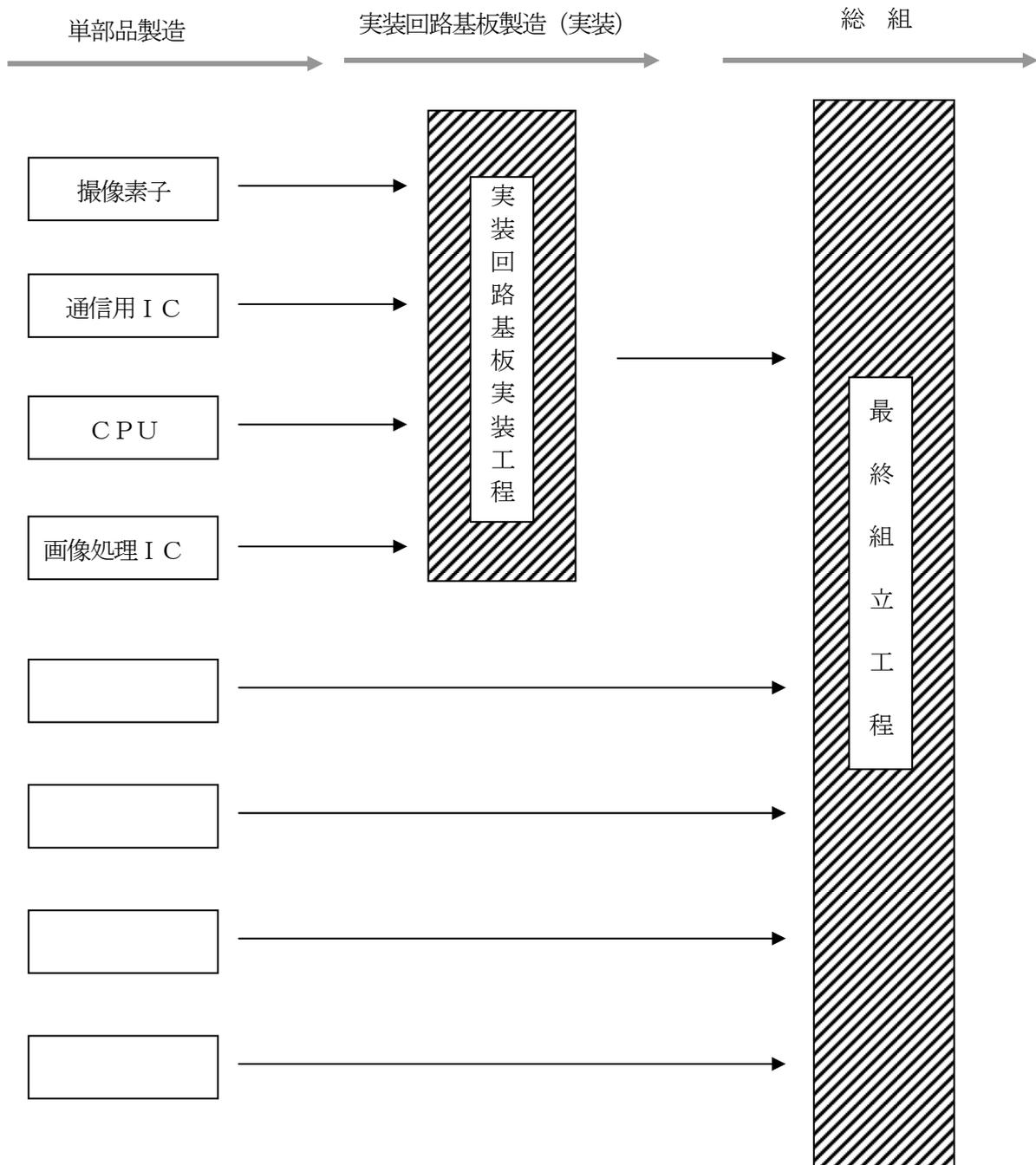
本PCRの改訂等履歴

実施日	訂番	実施内容
2004/9/29	01	制定
2011/2/1		更新

付図1 ネットワークカメラ

素材・製造ステージ負荷の把握方法（項番 4 関連）

下図の斜線部分を実測し、その他の部分は原単位を使用して算定する。



製品分類別基準(PCR)制定規程(R-06)の改訂による PCR項目順の変更について

2008年5月1日の規程改訂により、製品分類別基準(PCR)の項目の順番が変更された。本PCRは規定改訂前に制定されたものであるため、以前の項目の順番としている。以下に、規程改訂前後のPCR項目の対応関係を示す。

<規定改訂前のPCR項目>

<規定改訂後のPCR項目>

No.	規定改訂前のPCR項目		No.	規定改訂後のPCR項目	関連様式
				【LCA調査の範囲の設定とラベル開示の内容】	
1	製品の定義	→	1	製品の定義	-
2	製品構成要素と評価単位	→	2	製品構成要素と評価単位	-
3	製品ライフサイクルステージ	→	3	製品ライフサイクルステージ	-
		}	4	製品の仕様	PEAD
			5	LCAデータの公開内容	PEAD
			6	新旧製品比較	PEAD
			7	その他エコデザイン関連情報	PEAD
				【システム領域およびデータ収集条件の設定】	
4	原料・部品の構成	→	8	製品の原料・部品構成	内訳DS(製品)、PDS
5	製造ステージにおけるデータ収集条件	→	9	製品製造ステージにおけるモデル化・データ区分等	内訳DS(製造サイト)、PDS
6	物流ステージにおけるデータ収集条件	→	10	物流ステージにおけるモデル化・データ区分等	内訳DS(物流)、PDS
7	使用ステージにおけるデータ収集条件	→	11	使用ステージにおけるモデル化・データ区分等	内訳DS(使用)、PDS
8	廃棄・リサイクルステージにおけるデータ収集条件	→	12	廃棄・リサイクルステージにおけるモデル化・データ区分等	内訳DS(廃棄・リサイクル)、PDS
9	LCI FGD/BGD データ収集/処理	}	13	カットオフルール	内訳DS(各ステージ)、PDS
10	LCIA インパクトカテゴリ		14	収集データの品質要件	内訳DS(各ステージ)、PDS
			15	収集データのアロケーション	内訳DS(各ステージ)、PDS
11	アロケーション	}		【インベントリ計算】	
12	データ収集範囲		16	LCI 計算の考え方	内訳DS(各ステージ)、PEIDS
13	カットオフルール		17	LCI 共通原単位の使用条件	内訳DS(各ステージ)、PEIDS
14	LCI BGD 近似代替	→		【ライフサイクル影響評価(特性化)】	
15	LCI BGD PCR原単位	→	18	LCIA インパクトカテゴリおよび特性化係数の追加	内訳DS(各ステージ)、PEIDS
16	LCIA BGD 特性化係数の追加	→			
17	製品の仕様	}			
18	LCAデータの公開内容				
19	その他環境関連情報				